

江田島市地域経済動向調査（令和4年2月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和3年12月号より）

『景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。』

- ・個人消費はこのところ持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・住宅建築は、おおむね横ばいとなっている。
- ・公共投資は、高水準にあるものの、このところ弱含んでいる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、このところ弱含んでいる。貿易・サービス収支は、赤字となっている。
- ・生産は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。
- ・国内企業物価は、上昇している。消費者物価は、底堅さがみられる。

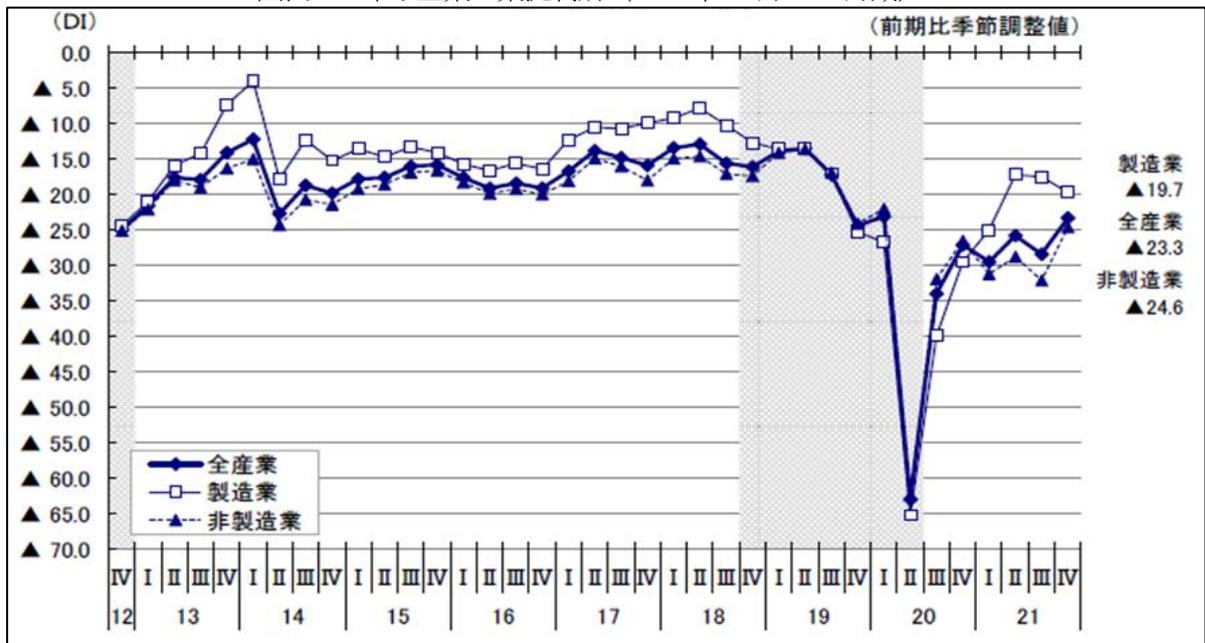
『先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。』

◇中小企業景況調査（2021年10～12月より）

『中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに上昇した。』

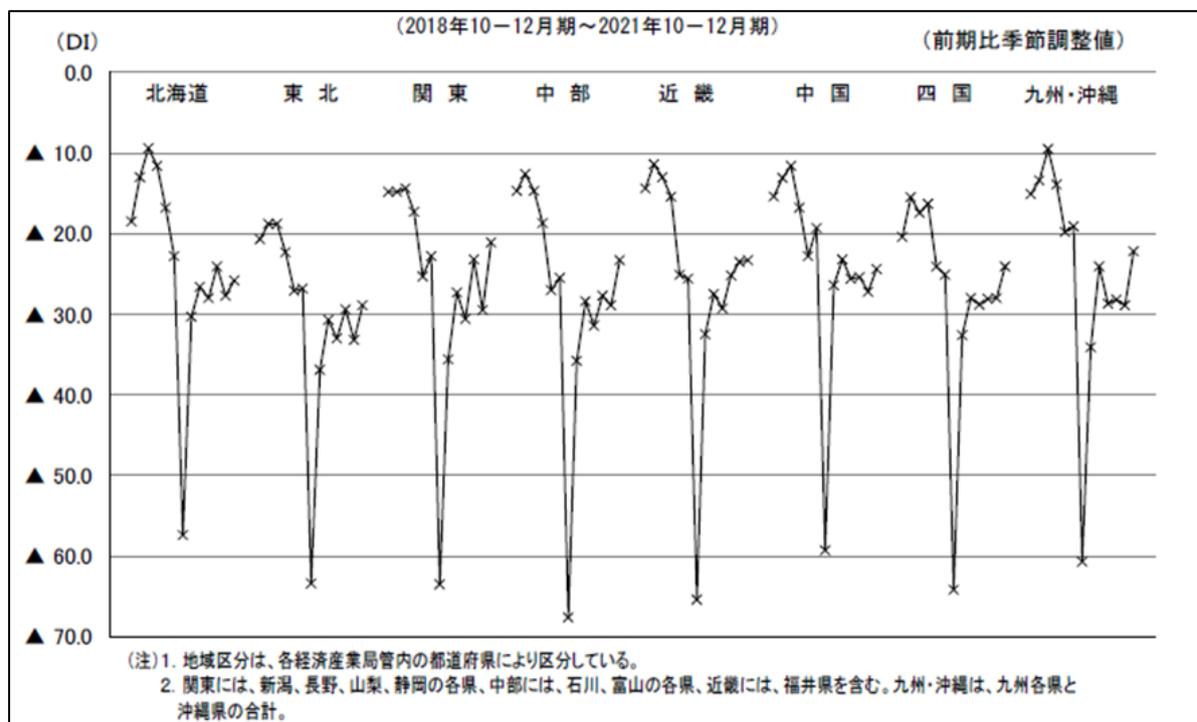
- ・2021年10～12月期の全産業の業況判断DIは、▲23.3（前期差5.1ポイント増）となり、2期ぶりに上昇した。
- ・製造業の業況判断DIは、▲19.7（前期差2.2ポイント減）となり、2期連続して低下した。
- ・非製造業の業況判断DIは、▲24.6（前期差7.5ポイント増）となり、2期ぶりに上昇した。

図表1 中小企業の業況判断（2021年10月～12月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、関東、九州・沖縄、中部、東北、四国、中国、北海道、近畿の全ての地域でマイナス幅が縮小した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
（2018年10月－12月期～2021年10月－12月期）



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和4年1月）

『県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している』

- ・個人消費：「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、横ばいの状況にある」

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるなか、全体では横ばいの状況にある。業態別にみると、スーパー販売、ドラッグストア販売は、内食・中食需要により食料品が好調であることから、前年を上回っている。百貨店販売は、新型コロナウイルス感染症の影響により前年を下回っている。家電販売は、白物家電などが堅調であるものの、パソコンなどの需要に落ち着きがみられ、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも半導体不足の影響により、前年を下回っている。
- ・生産活動：「持ち直している」

生産活動は、供給面の制約が緩和されつつあり、自動車が増加していることなどから、全体では持ち直している。業種別にみると、鉄鋼は、設備の稼働停止の影響などから、減少している。プラスチック製品は、スマートフォン向けの受注に弱い動きがみられることから、減少している。一方、一般機械は、国内外で需要が持ち直していることから、増加している。電気機械は、液晶ディスプレイ向けなどで需要が堅調であることから、増加している。輸送機械は、自動車において、半導体不足による供給面の制約が緩和されつつあることから、足下では増加している。
- ・雇用情勢：「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準と比べて低水準で推移しているものの、新規求人数が増加しているなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。
- ・設備投資：「3年度は前年度を上回る見込み」

○製造業では、「生産用機械」、「非鉄金属」などで減少するものの、「自動車」、「その他製造」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
○非製造業では、「運輸・郵便」、「その他のサービス」などで増加するものの、「金融・保険」、「電気・ガス・水道」などで減少することから、全体では前年度を下回る見込みとなっている。
- ・企業収益：「3年度は減益見込み」

○製造業では、「木材・木製品」、「情報通信機械」などで増益となるものの、「その他の輸送用機械」、「生産用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
○非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「その他のサービス」、「建設」などで減益となるものの、「小売」、「運輸・郵便」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- ・企業の景況感：『「下降」超幅は縮小』

企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が縮小している。なお、先行きも「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。
- ・住宅建設：「前年を上回る」

新設住宅着工戸数でみると、分譲住宅、給与住宅が減少しているものの、貸家、持家が増加していることから、前年を上回っている。
- ・輸 出：「前年を下回る」

県内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、鉄鋼、船舶が増加しているものの、自動車が減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、中南米などで増加しているものの、北米、西欧などで減少している。
なお、輸入は、鉄鉱石、石炭が増加していることから、前年を上回っている。地域別では、大洋州、中南米などで増加している。

図表3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整係) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 精算金額 伸び率 前年比	所定外 労働時間 伸び率 前年比	
	指数	前月(年、期)比				戸数合計	持家	賃貸			
2017年	103.3	2.1	—	△ 1.5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	※ 2.2	0.6	
18	100.3	△ 2.9	△ 0.5	△ 1.2	2.2	△ 12.0	△ 2.2	△ 14.2	※ 16.5	△ 2.3	
19	100.7	0.4	1.4	△ 0.6	△ 3.6	2.2	2.6	△ 12.0	※ 27.3	△ 1.3	
20	88.2	△ 12.4	△ 2.8	△ 5.1	△ 9.5	△ 14.8	△ 9.8	△ 11.3	※ 4.7	△ 15.3	
20年 7~9月	87.9	19.4	△ 0.0	△ 5.4	△ 13.1	△ 10.2	△ 11.1	0.8	17.2	△ 16.3	
10~12	91.3	3.9	△ 5.5	0.6	15.2	△ 2.5	△ 9.6	△ 1.5	△ 2.7	△ 10.7	
21年 1~3	96.8	6.0	△ 3.4	△ 2.4	2.9	0.8	△ 1.5	△ 15.2	△ 11.3	△ 1.2	
4~6	93.3	△ 3.6	5.1	5.5	24.8	15.5	4.5	42.5	△ 11.7	24.5	
7~9	85.0	△ 8.9	△ 4.0	△ 5.9	△ 17.3	19.1	14.2	32.4	△ 1.6	8.5	
20年 10	92.4	2.2	△ 6.6	6.7	30.6	△ 20.1	△ 25.8	△ 26.0	0.6	△ 12.2	
11	92.6	0.2	△ 6.9	0.4	6.1	23.4	4.5	23.5	13.5	△ 11.6	
12	88.9	△ 4.0	△ 2.9	△ 3.5	11.5	△ 1.1	△ 3.8	12.4	△ 25.8	△ 8.4	
21年 1	98.1	10.3	△ 5.1	△ 5.7	7.1	12.8	0.6	△ 39.6	17.8	△ 5.3	
2	93.0	△ 5.2	△ 4.7	△ 5.0	1.4	△ 6.9	8.8	△ 13.8	△ 14.9	△ 2.7	
3	99.2	6.7	△ 0.1	3.4	1.5	△ 1.1	△ 12.0	2.2	△ 20.7	4.4	
4	93.8	△ 5.4	2.5	21.5	31.2	33.7	13.9	153.4	△ 15.8	18.4	
5	89.7	△ 4.4	8.1	7.2	43.3	6.1	9.0	5.8	△ 12.8	33.8	
6	96.4	7.5	4.9	△ 7.8	6.8	10.7	△ 6.5	34.9	△ 0.8	23.2	
7	87.4	△ 9.3	0.3	△ 1.0	△ 6.2	34.6	14.4	27.4	△ 8.4	16.0	
8	82.9	△ 5.1	△ 2.3	△ 7.6	△ 2.0	25.5	15.8	11.4	0.5	7.5	
9	84.7	2.2	△ 9.6	△ 7.6	△ 37.2	3.1	12.3	60.0	5.0	1.9	
10	P 85.2	0.6		0.2	△ 35.2	9.7	35.2	12.9	△ 41.0	△ 1.0	
11				△ 0.8	△ 9.6	6.8	15.0	1.2	18.4		
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸協会 中国自動車協会	国土交通省			西日本建設業保証	県統計課	

(注) Pは速報値、鉱工業指数の暦年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整後、公共工事精算金額と有効求人倍率の率は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	銀行		手形交換		不渡手形 (内取引停止処分)		企業倒産 (負債1千万円以上)	
			実質預金 (億円)	貸出金 (億円)	枚数 (千枚)	金額 (億円)	枚数 (枚)	金額 (万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2017年	※ 1.88	0.3	※ 154,251	※ 109,406	1,055	30,304	81	5,969	155	27,960
18	※ 2.06	0.8	※ 157,385	※ 113,445	970	27,930	94	8,506	184	31,553
19	※ 1.96	0.1	※ 160,991	※ 117,171	912	27,870	89	10,045	190	24,866
20	※ 1.29	0.2	※ 173,287	※ 122,385	799	25,564	24	1,051	165	29,569
20年 7~9月	1.27	0.3	168,115	120,229	197	6,403	1	146	39	4,448
10~12	1.16	△ 0.6	170,199	121,272	177	7,006	1	50	38	6,801
21年 1~3	1.22	△ 0.8	173,287	122,385	195	5,136	0	0	31	1,751
4~6	1.34	△ 0.7	175,687	123,638	180	5,354	2	37	34	2,460
7~9	1.38	△ 0.2	174,303	123,609	175	5,618	1	30	22	3,336
20年 10	1.18	△ 0.3	169,372	120,916	50	1,824	—	—	12	3,586
11	1.17	△ 0.6	168,831	120,834	75	2,785	—	—	11	767
12	1.13	△ 0.9	170,199	121,272	52	2,397	1	50	15	2,448
21年 1	1.20	△ 0.6	172,021	122,011	57	1,874	—	—	13	698
2	1.21	△ 1.0	172,702	121,897	57	1,258	—	—	6	698
3	1.25	△ 0.7	173,287	122,385	81	2,004	—	—	12	355
4	1.31	△ 0.9	175,667	122,325	61	1,907	—	—	7	303
5	1.34	△ 0.8	174,809	122,875	59	2,009	1	36	16	1,342
6	1.36	△ 0.6	175,687	123,638	60	1,439	1	2	11	815
7	1.36	△ 0.3	176,179	124,244	45	2,046	—	—	5	1,398
8	1.38	△ 0.5	175,405	123,715	73	2,161	—	—	8	352
9	1.38	0.3	174,303	123,609	57	1,412	1	30	9	1,586
10	1.35	△ 0.2	175,546	124,194	42	1,462	1	60	7	6,856
11	1.37	0.2	175,204	124,247	69	198	1	87	4	236
調査機関	広島労働局	総務省	日本銀行広島支店		広島県銀行協会			帝国データバンク広島支店		

(注) 有効求人倍率の率は年度で標準値、年度及び四半期の数値は月平均。銀行は国内銀行、信金の合計。実質預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値の率は年度。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（令和3年12月）

『江田島の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、令和3年10月～12月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・令和3年10月～12月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲25.0であり、全国と比較して、1.7ポイント低くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、業況判断D Iは▲53.3であり、全国値・広島県値より大幅に低い値となっている。

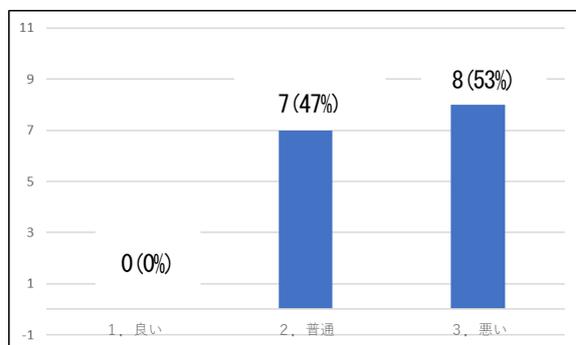
図表4 景況判断状況（全産業）

（前期比）

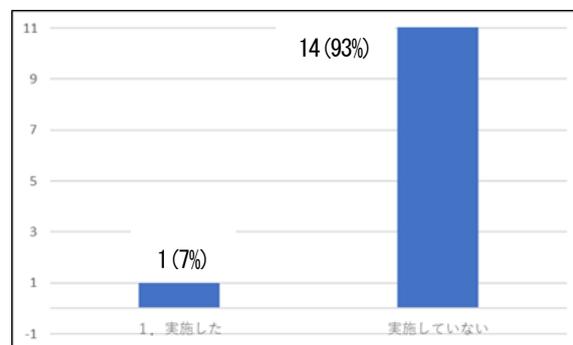
	2020年				2021年			
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月
全国	▲24.4	▲64.1	▲34.1	▲26.1	▲29.5	▲25.8	▲28.4	▲23.3
広島県	▲20.2	▲57.2	▲17.9	▲22.9	▲21.9	▲30.1	▲24.3	▲25.0
江田島市	▲66.7	▲60.0	▲80.0	▲73.3	▲60.0	▲66.7	▲73.3	▲53.3

- ・江田島市15社分の現在の景況感、設備投資状況は次のとおりである。

図表5 現在の景況感



図表6 2021年10月～12月の設備投資



- ・中小企業景況調査では、全国で18,911企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会調査においては、製造業では「製造設備の不足・老朽化」が、建設業では「官公需要の停滞」が、小売業では「仕入単価の上昇」が、サービス業では「材料等仕入単価の上昇」が経営上の問題点の1位となっている。

図表6 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	原材料価格の上昇	需要の停滞	製造設備の不足・老朽化
	江田島市商工会	製造設備の不足・老朽化	需要の停滞	その他
建設業	全国	材料価格の上昇	従業員の確保難	民間需要の停滞
	江田島市商工会	官公需要の停滞	民間需要の停滞	その他
小売業	全国	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	仕入単価の上昇
	江田島市商工会	仕入単価の上昇	需要の停滞	事業資金の借入難
サービス業	全国	需要の停滞	利用者ニーズの変化への対応	材料等仕入単価の上昇
	江田島市商工会	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・令和3年12月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は48件、金額は1,038百万円であり、前年同月比で大幅に減少している。
- ・令和3年12月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は505件、金額は5,263百万円であり、前年同月比で増加している。

図表7 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	2020年12月				2021年12月			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
江田島市	167	2,696	504	5,029	48	1,038	505	5,263
広島県	34,365	516,243	76,750	781,426	8,853	111,566	81,286	864,237

以上